

平成25年10月25日



各 位

会社名 高田機工株式会社
 代表者名 取締役社長 寶角正明
 (コード番号: 5923 東証第1部)
 問合せ先 経理部長 西尾和彦
 (TEL: 06-6649-5100)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成25年10月25日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、平成25年5月10日の平成25年3月期決算短信発表時に開示した平成26年3月期第2四半期累計期間(平成25年4月1日～平成25年9月30日)及び平成26年3月期(平成25年4月1日～平成26年3月31日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

平成26年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	5,000	△ 300	△ 250	△ 270	△ 12 24
今回修正予想(B)	4,600	△ 1,400	△ 1,360	△ 1,380	△ 62 59
増減額(B-A)	△ 400	△ 1,100	△ 1,110	△ 1,110	-
増減率(%)	△ 8.0	-	-	-	-
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成25年3月期第2四半期)	6,244	△ 99	△ 45	△ 138	△ 6 26

平成26年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	14,000	90	140	100	4 53
今回修正予想(B)	13,000	△ 1,530	△ 1,450	△ 1,490	△ 67 58
増減額(B-A)	△ 1,000	△ 1,620	△ 1,590	△ 1,590	-
増減率(%)	△ 7.1	-	-	-	-
(ご参考)前期実績 (平成25年3月期)	12,020	△ 89	27	38	1 74

修正の理由

昨年度の橋梁事業の受注が伸び悩んだことで、当事業年度における橋梁工場の操業度維持には懸念を抱えておりました。そのような状況下で、当第2四半期累計期間におきましては、製作予定の手持ち大型橋梁工事の工場製作時期が当初想定より大幅に遅れたことで、橋梁工場の操業度が通常の50%以下に落ち込み、固定費を吸収することができない状態で推移いたしました。橋梁工場の操業度改善を図るために手持ち鉄構工事の部材製作も継続いたしましたが、橋梁部材とは加工内容が異なり生産効率は向上せず、通常でも粗利確保が難しい鉄構工事の採算を大きく悪化させる事態となりました。さらに橋梁事業の現場施工において原価高となる工事が発生したことで、工事損失引当金の計上を余儀なくされ、業績は大幅に悪化する見通しであります。

通期の見通しにつきましては、橋梁工場の操業度が回復することで業績の悪化に歯止めはかかると予想されます。しかしながら橋梁事業・鉄構事業とも手持ち工事の採算は低下傾向にあり、第2四半期累計期間の業績予想を受けて、通期の業績予想も大幅に悪化する見込みであります。

このような事態に陥った原因は、変化する顧客のニーズを的確につかむ事が不十分であった結果、ここ数年の受注量が減少したことに加え受注先が偏重したことから、橋梁工場において安定した操業度を保てなかったことにあります。今後は、受注活動の原点に立ち返り、顧客ニーズに沿った営業に重点を置き、技術提案力を充実させ、「バランスの良い受注の確保」を目標に確実に受注を積み上げると共に更なる経営合理化を進めてまいります。

以 上

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想数値と大幅に異なる可能性があります。